

急変時の対応・BLS と AED

救急看護認定看護師 金姫 静

初めにデモン
ストレーションします



次に各グループに分かれて実践してみよう



AED もってきてください
主治医に連絡してください



脈ありません
人工換気開始します





☆患者さんの急変の前兆に気づくことができるようになることや急変対応ができるようになることは自分の強みになっていくと思うので今回の研修で学ぶことができて良かったです。 宮下

☆事例を通して、患者さんの急変の兆候に早く気付くことが出来るためにも、観察は重要だと分かった。

急変時の対応をグループで行い、声掛けが大切だと改めて感じた。 佐野

☆患者さんの些細な変化の中にもキラーシンプトムがあるということのリスクについて改めて考えさせられた。日々の即時にアセスメントできるよう訓練していきたい。 竹下

☆キラーシンプトムに気付き、今後どういうことに繋がるかを考えることが大切だと感じた。また BLS について講義・実践を通して、急変時の対応を学ぶことが出来た。 山下

☆日頃から患者さんの様子や状態の変化を観察、予測し、異変に気付く力が必要だと感じました。

緊急時はこの研修で学んだことを生かし、迅速に行動できるようにしていきたいと思う。 勝亦